



令和3年1月12日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

2021

1

No.445

と も え



CONTENTS

新春特集

北海道・北東北の縄文遺跡群
世界遺産登録でチャンスをつかめ!

新春紙上名刺交換	P 8
会員NOW	P14
「はこだてカルチャーモバイルクイズラリー」 開催報告	P15



北海道・北東北の
縄文遺跡群を
世界遺産に

謹賀新年

HAKODATE



自衛隊函館地方協力本部

昨年も多数の自衛官を採用いただきありがとうございます。
本年も引き続きご検討をお願い致します。

退職自衛官の魅力！

准・曹

指導能力
技術力

幹部

リーダーシップ
管理能力

士

団結力
体力

遵法精神と強い責任感

《退職自衛官採用に関するお問い合わせ取次先》
自衛隊函館地方協力本部援護課 道南地域援護センター
電話：0138 (32) 0488 (FAX兼)



と も え

1月号

(通巻445号)

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申しあげます。
本年が皆様にとって、良い年で
ありますよう心からお祈り申しあげます。

謹賀新年

■今月の表紙

「旧函館区公会堂」

函館港を臨む基坂の坂上に建ち、国指定重要文化財にもなっている旧函館区公会堂を撮影した一葉です。2018年10月より始まった耐震補強を含めた大規模な保存修理工事から約2年ぶりに美しい外観を現しました。再開館は2021年4月頃を予定されています。

1910年に完成した旧函館区公会堂は、町会所・商業会議所事務所として利用されていました。また、1911年、当時皇太子であった大正天皇が来函した際には、2階の貴賓室が宿泊所として使用されました。



CONTENTS

2 年頭所感 函館商工会議所 会頭 久保 俊幸

4 新春特集
北海道・北東北の縄文遺跡群
世界遺産登録でチャンスをつかめ!

8 新春紙上名刺交換

14 会員 NOW
●「自分の強み×地域の強み」で三方よし tanosimou

15 函館商工会議所青年部主催
「はこだてカルチャーモバイルクイズラリー」開催報告

16 会議所のうごき

- 建設・土木、工業部会 合同部会幹事会
- 道南縄文文化推進協議会
地方創生カレッジin函館 アドバンス編
縄文書道作品贈呈式とPRバスお披露目式
- 第9回青函共用走行区間高速走行早期実現協議会(オンライン会議)
- 第15回はこだて検定 110名のはこだて博士が誕生
- 銭亀沢地区女性部「フラワーアレンジメント講習会」及び「生け花講習会」
- 2020はこだてクリスマスファンタジー
- 市内各所においてイルミネーションイベントが開幕

19 ご案内

- 特定退職金共済制度
～福利厚生は、まず「退職金制度」の確立から～
- 日商簿記検定(2級・3級) がネットで受験できるようになりました
- 新型コロナウイルス感染症の影響に係る固定資産税・都市計画税の軽減措置について

22 第62回優良商工従業員表彰 受賞者名簿

24 中小企業相談所だより

- マル経融資
- 「働き方改革」専門相談(北海道労働局委託「北海道働き方改革推進支援センター」事業)をご活用下さい!
- 中小企業の収益増加を目指すIT活用研修
- 接客・サービス業生産性向上研修
- ホテル・飲食店向け HACCP(ハサップ)を学ぼう
- 個別専門相談日程

26 トレンド通信

27 全面広告

28 青森商工会議所会員事業所のご紹介

- 株式会社 若山経営

広告掲載企業

自衛隊函館地方協力本部

㈱中小企業基盤整備機構北海道本部

損害保険ジャパン(株)函館支社

㈱中小企業基盤整備機構北海道本部

五稜郭タワー(株)

(株)英知国際特許事務所

道南食品(株)

龍文堂印刷(株)

(有)オフィス・K

大和ハウス工業(株)北海道支社

商工会議所団体保険制度のご案内

はこだて週末冬花火

生産性向上支援訓練

総務省テレワーク・サポートネットワーク事務局

表紙裏

裏表紙裏

裏表紙

段下

段下

段下

段下

段下

折込

折込

折込

折込

折込

折込

年 頭 所 感



函館商工会議所 会頭

久保 俊幸

「信用」

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が都市部を中心に全国で再拡大し、当市においても冬以降、その波が押し寄せています。ウイルスの脅威に対峙しながら、一人でも多くの患者を救うために懸命に努力している医療従事者の皆様には、地域経済界を代表して、心からの敬意と感謝を申し上げます。

【コロナ禍のなかで】

会員の皆様におかれましては、長期化するコロナ禍のなか、経営者として自社の雇用を維持するため、事業計画の修正や経費の見直しなどに、日々腐心されているものと推察いたします。私たちは再び押し寄せている波をできる限り小さくするため、対策を強化しながら経済活動を続けねばなりません。申すまでもなく不幸にして自身のまわりで感染者が出た場合は、一刻も早く拡大防止対策に全力をそそぐとともに、病氣と闘う人が治療に専念できるように、配慮しなければなりません。感染してしまった人を責めたり、ましてや医師や看護師そのご家族等に対し、偏見の目を向けたりすることは、地域社会全体として決してあってはなりません。

【公助・自助】

わが国の経済は、感染拡大により緊急事態宣言の出された昨年4-6月期GDPが年率換算で実質マ

イナス28.1%とリーマンショック後を超える過去最大の減速となりました。宣言解除後、経済活動や消費マインドは回復基調に転じましたが、感染再拡大への強い警戒感から、回復に力強さを欠く状況が続いています。さらなる感染拡大で再び緊急事態宣言という事態に陥れば、失業や廃業が急増することを最も懸念しています。私はこれまで国や北海道に対する要望の際、全道一律の自粛要請ではなく、国土の22%を占める北海道の広さを勘案した要請にしてほしいと訴え続けてきました。一方、コロナ禍が長期化するなかでは、公助に頼るだけでなく、経営者自らがこの苦難を乗り越え、自助による取り組みも重要です。従来型の経済活動が制約される、新たな販路の開拓やビジネスモデルの見直しなども必要であり、商工会議所としてもこれまで以上に、きめ細かな経営支援を実践していきます。

【変えるべきもの 残すべきもの】

私たちは、今回のコロナ禍でたくさんのことを学びました。今後も激甚化する自然災害や新たなパンデミックなどは、いつでも、どこでも起きる可能性がありますし、国際政治も不安定化し、経済は全世界でかつてない落ち込みを見せています。このように極めて不確実な時代を生き抜いていくためには、変化に迅速に対応する柔軟性が不可欠であり、経営の基軸に、リスクに備えることで不確実性を吸収できる「戦略的ゆとり」を賢く組み込んだビジョンの策定が必要です。これを可能にするためデジタル技術などを活用した生産性の向上に真剣にトライするべきです。その際に大事な視点は、今回のコロナ禍

で学んだことを踏まえ、「変えるべきもの」を積極的に変えると同時に「残すべきもの」をしっかりと守り受け継いでいくことです。

具体的には、「デジタル」と「リアル」です。新型コロナウイルスの感染拡大は、ITで社会や産業構造を変革するDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させました。例えば紙や対面、会議でのやりとりに頼ってきたビジネスプロセスを最新のITを使って変革させたり、外食産業がITを大胆にとり入れてネット注文と宅配業務を強化したり、工場や農畜産業の生産現場にカメラとセンサーを取り付け、人工知能で省人化を図ったりする取り組みが進みました。しかし同時に、家族・友人・社会との絆など、リアルの重要性も改めて再認識されたのではないのでしょうか。行政手続きや企業内事務のデジタル化・効率化は進めなければなりません。一方でその場にいないとできないリアルな体験や、対面での濃密なコミュニケーションの価値は、これまで以上に高まったのではないのでしょうか。自社の置かれている状況を客観的に見つめ直し、「勝てる場所での戦い」を続けることが重要です。

2つ目は、「分散」と「集中」です。コロナ禍で、都市に人口が集中することのリスクやコストの大きさが顕在化し、地方居住への関心が高まるなど、地方創生の絶好の好機が訪れつつあります。一方で金融や情報では、都市の持つ高い集積効果を活かし国際競争力をさらに高め、世界から人や資金を引き付ける流れが加速するかもしれません。コロナ禍は、短期的に経済に重大なダメージを与えましたが、長期的には健康経営の実践やDXなどの非接触経済化の加速という副産物をもたらしました。私は今後、「デジタル」と「リアル」や「分散」と「集中」という流れが、段階的あるいはどちらかが主流になるのではなく、同時に両方向に加速して進むのではないかと考えています。

【100年企業】

アメリカでは大統領選が行われ、今後、菅義偉総理とジョー・バイデン氏との間で、新たな日米関係が構築されていくこととなりますが、現在、わが国には戦争やリーマンショック、東日本大震災など、幾多の危機を乗り越え100年以上続く企業が3万社以上あります。当地域にも市立函館病院や金森商船(株)、(株)五島軒など数十社の企業・団体が存在しま

す。こうした企業の長寿の秘訣は、環境変化への対応力と、長い年月をかけて培ってきた「信用」にあると思います。中小企業の経営者は覚悟を決めれば、環境変化に大胆かつ素早く対処していくことが可能です。コロナ禍を契機として新製品やサービス開発、新たな販路開拓、M&A、事業承継などに積極的に挑戦することと、顧客や取引先に対する感謝の気持ちを忘れず誠心誠意の事業を続けることで、十分克服していけるものと確信しています。

【信用】

本年は、遠くない時期に、わが国でもワクチンの接種が可能となると思いますし、当地域においては、春前に函館新外環状道路の赤川IC～函館空港ICが開通するとともに、春以降は今年残念な結果となったクルーズ船も国内旅行から徐々に戻ってくるものと期待しています。また、地域住民が希望を持ち、力を合わせて取り組める共通のイベントとして、函館マラソンや悲願達成が期待される縄文遺跡群の世界遺産登録を、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる象徴的なターゲットとして位置づけ、再び地域住民の心を一つにして、盛り上げていきたいと思っています。さらに北海道が事業主体となり、当市でのヤリイカ産卵礁の設置事業も動き出す見込みで、長期的なイカの不漁に悩む基幹産業である水産加工業界に、希望の光を与えるものになることを願っています。

商工会議所の礎を築き、今年のNHK大河ドラマの主人公となる渋沢栄一は、「限りある資産を頼りにするよりも、限らない資本を活用する心掛けが肝要である。限らない資本を活用する資格とは何であるか。それは信用である。」と説いています。社会がダイナミックな変化を遂げる今、先を見通すことは困難ですが、明けぬ夜も、やまない雨もありません。北海道のなかでも特に気候が穏やで比較的天災も少なく、主要交通の結節点でもある函館が、魅力ある街であり続けられ、きっと光明を見いだすことができると信じています。

結びになりますが、本年が新型コロナウイルス感染症を克服し、皆様とご家族にとって、健康で幸せな一年となりますよう心より祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録でチャンスをつかめ!

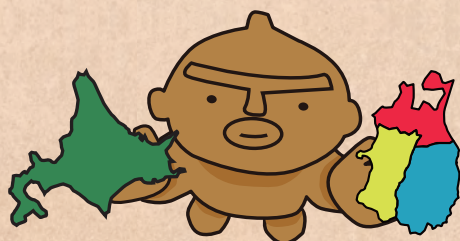


©道南歴史文化振興財団

あけましておめでとうございます。北海道・北東北の縄文遺跡群は、道内6遺跡を含む17遺跡で構成され、日本は本年夏の世界文化遺産候補に推薦しています。本所では予めより道南縄文文化推進協議会の活動を中心に、世界遺産登録に向けて要請活動等を行ってまいりました。世界遺産登録が実現すれば、日本だけでなく世界からも注目を浴びることで、当地域経済にもプラスの効果を与えることが予想されます。今回の特集では、縄文遺跡群の概要について解説し、その課題と期待について正副会頭の考えを聞いてみました。

縄文文化を伝えるタイムカプセル

北海道・北東北の縄文遺跡群は、津軽海峡を挟んだ日本列島の北海道・北東北で縄文文化全般を通じて同一の文化圏が形成され、各時期(草創期、早期、前期、中期、後期、晩期)における、人々の生活跡の実態を示す遺跡(集落跡、貝塚、低湿地遺跡)や、祭祀、精神的活動の実態を示す記念物(環状列石、周堤墓)で構成されており、世界の他地域における新石器時代とは全く異なる1万年のストーリーを物語る考古学的遺跡群です。会員の皆様も縄文時代を彷彿とさせるガイダンス施設や資料館を訪れ、縄文人の暮らした世界を覗いてみませんか。



©道南歴史文化振興財団



▲垣ノ島遺跡

■縄文の世界遺産登録が目前に迫っていますが率直な感想は？

久保会頭

長期化するコロナ禍により何かと活動が制約されている中、当地域の長年の悲願である縄文遺跡群の世界遺産登録が、国内推薦決定やイコモスによる現地調査などの段階を経て、いよいよ現実のものになろうとしていることは、久々の明るいニュースを地域に届けられることとなりますので、大いに期待しています。

日本列島の豊かな自然環境に生まれ、1万年にわたり持続可能な社会を実現した縄文文化は、自然に対して畏敬や畏怖の念を抱きながら深い精神文化を発展させたわが国固有の文化として、現代に受け継がれています。一方、豊かな感性や神聖性を表現した遺物からは、現代人に対しても優れた芸術性を享受することができるもので、国境を越えてその魅力は世界的にも高い評価を得るものだと思いますし、世界4大文明などの古代文明にも匹敵する高度な古代文明社会として、位置づけられるのではないのでしょうか。戦争がなく、人やあらゆるものの生命の尊厳と向き合った縄文人の精神を学び、縄文遺跡を活用したまちづくりを推進し、当地から世界に発信していきたいと思えます。



■縄文の世界遺産登録に向けて課題や期待は？

境副会頭（道南縄文文化推進協議会会長）

道南縄文文化推進協議会では、民間の立場から世界遺産登録実現を「目標」としながらも、継続的に価値の普及を図っていくために、経済振興につながる活用を「目的」として活動してきました。目前に迫った縄文の世界遺産登録をゴールとして見るのではなく、感染拡大防止と社会経済活動を両立させる象徴的なターゲットとして位置づけ、コロナ禍に配慮した新スタイルの観光を提案し、函館観光の奥行きをさらに広げるものにしなければなりません。具体的にはポストコロナを見据え、非接触型の新しい観光スタイルを提案する象徴的な空間として、世界遺産センターの誘致を進めてはどうかと考えています。世界遺産センターは、17遺跡のうち三内丸山など8遺跡を持つ青森県も誘致を進めると思いますが、北海道にも6遺跡があり、代表的な遺跡は当市にありますので、青森市と函館市2か所に世界遺産センターがあってもいいのではないのでしょうか。



世界遺産登録されると、縄文に興味がある人ばかりでなく、世界遺産のネームバリューにひかれて、「とりあえず」訪れる人も相当数いると思います。リピーターを確保するためにも、当地域にあるはこだて未来大学などとも連携しながら、AIや5Gを活用した非接触型の新しい観光スタイルを提供できる場所が必要です。

水島副会頭

縄文の価値は、多くの部分が土の下など目に見えない所にあり、遺物の使用目的も諸説あります。これを限られた時間の観光客に伝えるには、ガイドによる案内が効果的だと思います。他地域の見本となるような感染防止対策をしっかりと施した上で、南茅部に常設のガイドを置き、観光客が質の高い案内を受けられる仕組みをつくるのが急務ではないのでしょうか。また、コロナが収束すれば、いずれインバウンドも戻ってきてくれると思いますが、私は長年にわたり函館に最も多く来てくれている台湾観光客を大事しなければならないと考えています。現地での中国語、英語に対応した案内サイン設置に加えて、中心部からの2次交通や観光ガイドも中国語を含めた多言語化へ対応してほしいと思います。



またPRの方法については、SNSを通じたPRももちろん重要ですが、全国各地に約300名いるはこだて観光大使を通じた口伝のPRや、既存の観光客が多い函館駅前や五稜郭などでイベントを行い、南かやべに足を運んでもらうきっかけをつくることも効果的ではないかと思えます。

村瀬副会頭



世界遺産登録をより多きものとするため、産学官の連携した取り組みが不可欠です。世界遺産認定の本来の目的は、遺跡の保全であるため、この部分は行政にお願いしなければなりません。一方、活用策のアイデアとして、地域の学生を巻き込んだイベントを開催してみてもはどうでしょうか。例えば垣ノ島遺跡が6月下旬に一般公開される予定ですが、十分な管理の上、遺跡の上でテントを張って、焚き火を囲んで「星空」を眺めたり、「縄文鍋」のようなものを考案して、縄文時代の空気感と食を感じてもらいイベントを開催してみても面白いのではないのでしょうか。人工物がない所で見える星や朝日、夕景は縄文を、わかりやすく伝えてくれると思います。

さらに9月に体験型観光の世界会議「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット」が札幌で開催されますので、この機を捉えてはこだて未来大学などと連携しVRやARを活用したコンテンツを作成し、世界に向けて縄文文化を発信してみたいかと思いますが。

中野副会頭



世界遺産登録後に持続的な効果を得るためには、経済と結び付けた活用を図ることが必要です。活用方法としては、昆布やクリ、クルマミなど縄文のイメージと結びつく「顔」となれるようなお菓子や水産加工品のお土産品を開発し育て上げることができれば強みになるのではないのでしょうか。お土産品の条件として手ごろな価格で、ある程度日持ちし、常温で持って帰れて、インスタ映えするものが理想だと思います。

青函との関連商品として、青森と中空土偶とのコラボを含め200~300種類の雑貨商品のコーナー展開も可能だと思います。また、観光客の満足度を高めるため、当時食べられていたイワシやサバ・マグロ・鹿・熊などを使用した食事の提供が必要だと思います。具体的には、流行でもあるジビエ料理や寿司などのグルメと縄文遺跡見学をセットにし、噴火湾観光ルートととして、鹿部間欠泉・大沼・駒ヶ岳観光、函館と大沼が同時に見えるきじひき高原からの展望など、周遊観光についての情報を2次交通と組み合わせて、分かりやすく発信することが重要だと考えています。

道南縄文文化推進協議会の取り組み

道南縄文文化推進協議会では、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の実現と道南圏の経済振興に向けて、多くの市民が縄文文化について“触れる”、“知る”機会を拡大するための事業を中心とした活動を展開しています。

① 縄文文化の歴史的・文化的な価値を普及するための講演会、研修会等の開催

- 小中学生親子を対象とした渡島管内縄文遺跡見学バスツアー
- 勉強会「縄文遺跡群の世界遺産登録—その意義と課題—」
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進フォーラム
- 南かやべ縄文まつり
- 地域資源活用フォーラム in 渡島 ~縄文がもたらす恵み~
- 縄文シティサミット in はこだて e t c

② 地域をはじめ、全国や海外の縄文関連イベント情報の収集と発信

賛助会員に向けたメールマガジンや広報誌を通じての情報提供

「縄文通信」の発行…大人が楽しむ縄文をコンセプトに、南茅部のグルメや縄文文化交流センターでの楽しみ方や体験メニューなど地域の縄文に関する情報を発信。

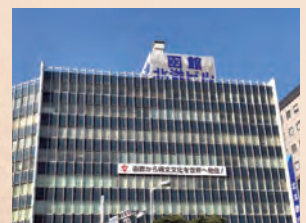
③ 世界遺産登録に向けた市民への啓発

世界遺産登録に向けての啓発グッズの作製と掲示

- 本所会員事業所や学校・大学等、約300箇所への卓上のぼり配布
- 教育大生と共同作成の横断幕を函館駅前北洋ビルに掲示（2018年7月）

④ 世界遺産登録早期実現に向けた要望活動

- 下村文部科学大臣の来函に際して、函館市・函館商工会議所・道南縄文文化推進協議会の連名により、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録早期実現について要望（2014年6月）
- 公明党山口代表の来函に際し要望（2018年5月）



教えて? JOMON

●縄文人の暮らしについて

Q. 言葉や文字はあったの？

A. 人々は大量に住み、とても大きな建物を建てたり、大きな石を動かしたりしています。このように協力して生活し、活動をするために言葉はあったと思います。ただ、どのような言葉話を話していたかは分かりません。また、文字は見つかっていません。

Q. 寿命や平均身長は？

A. 15歳まで無事に育った人は、その後、平均で30歳ぐらいまで生きました。そのため、子どものうちに亡くなった人を合わせると、平均寿命はもっと下がります。出土した人骨から、平均身長は大人の男性で160cmぐらい、女性は150cmぐらいと言われています。



©道南歴史文化振興財団

●竪穴住居について

Q. 大雨や大雪のときはどうしたの？

A. 台風などの強い風や大雪のときは、家が壊れるようなことがあったかもしれませんが、竪穴住居の中の柱はしっかりうめて固定しています。また、最近の調査では、屋根に土をかぶせていたと言われているので、建物は頑丈な作りだったと考えられます。



▲大船遺跡

●食べ物について

Q. 冷蔵庫がないのに、どうやって食べものを保管したの？

A. 穴を掘って食べものを貯蔵していました。入口はせまく、底はたくさん貯蔵できるように広がっています。地下は温度や湿度が一定で、木の実などを保管するのにちょうどいい場所でした。また、海水をにつめて塩が作られ、食べものの味つけや保存に利用されていました。

●衣服、装飾品について

Q. 服を作る布はどうやって作ったの？

A. 服は毛皮や植物を編んで作っていたと考えられます。植物で作った布は、細い繊維を糸にして編んだものです。太さ1mm以下の糸で編んだ布も見つかっています。1着の服を作るのにも、ずいぶん時間がかかったことでしょう。

Q. ペンダントや耳かざりはどうやって作ったの？

A. 石をけずったり、ねん土を焼いたりして作りました。縄文人が好んだヒスイという緑色のきれいな石があります。新潟県でしかとれない石で、とても貴重なものでした（北海道でも広く出土しており、何らかの手段で運ばれてきました）。ほかに、動物の牙を使ったペンダントやシカの角を使った髪飾り、貝を使った腕飾りなどを作りました。おしゃれの目的のほかに、不思議な力を身につけ、お祈りの目的もあったことと思います。

●出土品について

Q. 縄文土器には、なぜあんな「もよう」があるの？

A. 土器の「もよう」のつけ方には決まりがあり、自由に作ってもいい、というものではなかったようです。北海道の南部から北東北の広い範囲で同じような土器が作られます。同じような土器を作ることで、共通した文化であることを意識したのではないのでしょうか。また、土器の縄目は、でこぼこにすることで、表面積を増やし熱がよく伝わるようにしたとか、すべりにくくしたとも考えられています。

Q. 土偶は何のために作り、どんなふうに使ったの？

A. 土偶はねん土を焼いて作った人形です。でも、遮光器土偶のように目が大きいものや、こわい表情のものも作られています。また、全体の形を見ても、人間そのものを真似たものはとても少ないのです。おそらく土偶は、縄文時代の人々にとって重要な神様のようなもので、人間に似たすがたの神様をイメージしたのではないのでしょうか。土偶は神様として、お祈りに使われたものだと思います。



©道南歴史文化振興財団

●世界遺産について

Q. 世界遺産に登録されたらどうなるの？

A. 北海道・北東北の縄文遺跡群が、人類共通の大切な「たからもの」として世界中の人が協力し、守っていく必要がある文化遺産として、認められることとなります。また、世界的に価値が認められるので、多くの人が目見ようと遺跡を訪れてくれると思います。世界遺産登録は観光を目的にするものではありませんが、縄文文化や縄文時代に興味を持つきっかけとなり、縄文遺跡が持つ価値についての理解がより深まります。世界に認められた縄文遺跡群を未来に引き継ぎ、守っていくことがとても重要となります。

詳しくは「北海道・北東北の縄文遺跡群」ホームページをご覧ください。
(<https://jomon-japan.jp/>)



頌

有限会社赤坂葬祭
代表取締役

赤坂成二

大縄町二一〇

株式会社
近藤商会
代表取締役社長

相川良夫

西桔梗町五八九

北海道太平洋生コン株式会社
代表取締役

井町孝彦

昭和二二七二二六



株式会社
布目
代表取締役社長

石黒義男



浅野町四一七

イシオ食品株式会社
代表取締役社長

石尾清広

湯浜町一一七

アクサ生命保険株式会社
函館営業所長

雨宮留美子

本町八一八
ベストアメニティ五稜郭ビル4F

有限会社函館中央薬局
代表取締役

岡村賢

湯川町二四〇一六

株式会社松本組
代表取締役社長

大越雄司



吉川町四一三〇

株式会社ジャックス函館支店
支店長

岩井英一

若松町二一五
明治安田生命函館ビル5F

北海道パークレット工業株式会社
代表取締役

井村元昭

北斗市追分五一六一二〇

野村證券株式会社函館支店
支店長

梶田明宏

本町三一一五

株式会社ホーム企画
株式会社axis
代表取締役

角田隆芳



五稜郭町三五一一

株式会社リージャスト
代表取締役

折谷泉

桔梗町三七九一九

大樹生命保険株式会社函館支社
函館支社長

奥田典明

梁川町五一八

春

(五十音順)

トヨタカラー函館株式会社
代表取締役社長

河村 祥史

昭和四一三六一三六

函館日産自動車株式会社
代表取締役

亀田 文雄

石川町六〇

函館エンジニアケー株式会社
代表取締役社長

小浦 一也

鈴蘭丘町三一六三



函館環境衛生株式会社
代表取締役会長

久保 俊幸
久保 俊彦

金堀町五二二三

株式会社東京商工リサーチ函館支店
支店長

菅野 征幸

本町六一七
函館第一ビルディング4階

函館トヨペット株式会社
代表取締役社長

河村 隆平


石川町一六九一三五

大明工業株式会社
代表取締役社長

小林 正明

栄町一二一八

株式会社アキヤマ
代表取締役


小林 久周
北斗市東前三一四一

株式会社丸伊小林建設
代表取締役社長

小林 淳一

美原五二四四二五

株式会社アドバンス
代表取締役会長

小坂 三男

柳町三一六

社会福祉法人函館大庚会
特別養護老人ホーム松濤
施設長・常任理事

今 千尋

松風町一八一五



株式会社古清商店
代表取締役社長

古伏 脇隆二

日乃出町一五一

株式会社函館国際ホテル
総支配人

小林 睦明

大手町五一〇

及明ビル管理株式会社
代表取締役

小林 真樹

本通一五一一三

頌

齊藤建設株式会社
代表取締役

齊藤 大介

田家町一五―一二

株式会社青函設備工業
代表取締役

齋藤 秀司

宝来町二三―五

株式会社北海道銀行函館支店
常務執行役員 函館支店長

佐々木 剛

本町七―一八

株式会社ニシカワ産業
代表取締役

佐川 貴一

桔梗町四〇六―四一

株式会社ト―シヨウビルサービス
代表取締役社長

境 勝則

中道一―一―一二

株式会社今井工務店
代表取締役会長

齋藤 善美

西桔梗町八四九―二二

株式会社丸み佐藤商店
会長

佐藤 止昭

新川町一―二五

佐藤電気工事株式会社
代表取締役

佐藤 征次

富岡町一―三九―五

株式会社アサヒ商材
代表取締役

佐藤 清治

神山三―四八―一四

函館三菱ふそう自動車販売株式会社
代表取締役会長兼社長

佐々木 眞

昭和三―三二―二六

函館どつく株式会社
代表取締役社長

関川 義紀

弁天町二〇―三

株式会社富士サルベージ
代表取締役

須田 新崇

大町八―二五

株式会社鈴木商店
代表取締役

鈴木 新太郎

北斗市東前八五―六三

龍文堂印刷株式会社
代表取締役

庄司 澄枝

日乃出町二八―二



春

株式会社道水
代表取締役社長



高野元宏

豊川町二七―五

潮産業株式会社
代表取締役

外崎浩之

西桔梗町五九一―三三

函館山ロープウェイ株式会社
代表取締役社長

竹村隆

元町一九―七

株式会社竹田食品
代表取締役社長

竹田寿広

浅野町三一―〇

株式会社高橋組
代表取締役社長

高橋則行

高盛町三一―二〇



北海道ガス株式会社函館支店
執行役員函館支店長

高橋憲司

万代町八一―一

来夢ハウス
辻木材株式会社
代表取締役会長

辻秀明

北斗市七重浜八―九―一二

株式会社北陸銀行函館支店
支店長

辻岳史

若松町二〇―一

株式会社NTT東日本―北海道北海道南支店
取締役北海道南支店長

立田努

東雲町一四―八

北海道乳業株式会社
代表取締役

田島英久

昭和三―六―六



株式会社高木組
代表取締役社長

中田俊一郎

東雲町一九―一三

株式会社エヌイーシー
代表取締役社長

永井英夫

末広町二二―一

SEC

株式会社長門出版社
代表取締役社長

富田秀嗣

日乃出町一一―一三

株式会社プロテック
代表取締役社長

富樫孝樹

北斗市追分三―六―九

Protech